
私が語る私の恋

杏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私が語る私の恋

【Zコード】

Z78420

【作者名】

杏

【あらすじ】

主人公の広瀬桜と魁斗の悲しい恋

1年半好きだった思い

(前書き)

私の体験した恋を書きました。

実際小説と言つものはあまり書かなくて、書き方がわからずペラペラと

書いてしまいましたが、読んでください。

初めての作品です。「私が語る私の恋」

私は、小学6年生の広瀬桜！…そんな私に実は好きな人がいるの…！

5年生のころ、転入してきた長野魁斗君に恋をした。
それから、ずっとずっと好きなの。

でもね、私5年のころからけよつと不登校気味だった。6年の時は1ヶ月くらい休んだ。

精神的な病気になっちゃってね…。

辛かつた。自殺行為までした。病気は増す一方だった。朝も昼もろくに食べなくて、昼は以上に眠いのに夜はねれなくて、自分を責め続けて、無償にイライラする。

そんな生活をえてくれたのは、今親友のはるちゃんにあいちゃんだった。はるちゃんは可愛くて男子にも人気があつてモテる子、あいちゃんは、元気でいつも励ましてくれる子だった。

不登校のある日。

「桜ー学校こーんかーーー！」

「あいちゃん？」

「みんな待ってるつづかーーーーー！」

家に突然押しかけてきたのはあいちゃんだった。

「墨田は学校」こみー

「うそ・・・」

「うつもお見舞いに来てくれるのに私は嘘ついてしまったか。

でも、あいりちゃんが手紙を持ってきてくれた。

その手紙はあいりちゃんが無理やり魁斗に書かせた手紙。

あつたない字で「早く学校にきてね」って。一言。

それだけでもうれしかった。

それからだんだん学校にいへよつになり、あいりちゃんといひあわせをつけると仲良しだ。

そして、6年のある日・・・

「あんた、桜のこと好きやねー」

こんな大きい声が私の耳に響いた。

あいりちゃんの声?

「ちげえし」

そう、言つたのは魁斗。

私は自分の顔が赤くなるのがわかつた。

「絶対こいつ桜のことすきだよねー」

「ちげえつてば。まあ、俺の好きな奴はこのクラスの中にはこるなどな」

「桜やー」

私が聞いたのはそこまで。これ以上は聞きたくなかった。
その次の日は陸上大会だった。

なぜか、恐怖の告白退会にもなった。

親友のはるちゃんは、大木くんの事が好きで
大木君もはるちゃんのことが好きで告白して、めでたく結ばれたつ
てわけ。

次は、同じく仲が良いかなちゃんは、黒木君に告られてOKしてカ
ップル成立！

でも、そこで魁斗が好きな人に告ひつて言い出したの！

魁斗が呼び出した相手は、

親友のはるちゃんだった。

あいちゃんは私に「行くな」と言つた。

告白の最中だつたから・・・。

あいちゃんは、私が傷つかないように言つた。それはあいちゃんの
精一杯の優しさだった。

はるちゃんは魁斗に「「めんなさい」と答えた。

悲しかつた。

「あきらめないで。魁斗の」と――」

「いいよ、もう。あ・・・私ほかに好きな人いたから――」

「元気そうに振舞う私。馬鹿みたい・・・

「桜ー桜ー」

「あいちゃん? なに? ？」

「あつあのね、私が交渉してみたところ、魁斗がつ、『桜が俺の事を好きつて書つたら俺も考える』ってーーー！」

「わー、こーよーくー」

「あきらめんなー！」

「やーだよ」

「桜、いーよーーー！」

「えつっやだ・・・」

「もーはやく」

「心の準備はOK?」

「えつえつ」

「魁斗ーーーー魁斗やーん」

「ほひ、桜はよ書わんねーーー」

「・・・」

「むつーあきらめーーー」

その言葉がとんできた。

私何も言つてないのに。

なんでなんで、あきらめてからそんなこと書いの？

涙がただ、ただ溢れて・・・

私が魁斗のこと好きだった思いは一瞬にして消えた。

その日から魁斗は喋れなくなつた。

クラスの男子も私に気を使つてくれたみたいで・・・

だから引かざるのせめよと思ひ。

だつて、1年半も好きだつた思いが一瞬で消えて心ズタズタになつたつてみんなが

またきつと支えてくれる。

「よーし! また新しい恋を見つけるぞー!」

桜、一緒に好きな人みつけようねっ！――！」

(後書き)

私の初めての作品、「私が語る私の恋」 読んでいただきありがとうございました。

私の体験ですが、未熟なもので下さいません。

また、いろんな小説を書いていきたいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7842o/>

私が語る私の恋

2010年11月8日04時13分発行